

9月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和7年9月22日（月）
開催時間	午前10時00分
開催場所	市役所本館 6階 大会議室
出席委員	浦上 教育長 水野 教育長職務代理者 岩井 委員 藤井 委員 近田 委員
出席職員	太田副教育長・塚本教育監・川添次長・牧野教育政策課長・山本学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・内藤学務給食課長・辻本教育センター所長・永澤生涯学習課長・山本桂青少年会館長・宮田安中青少年会館長・松村教育政策課長補佐・宮崎学校教育推進課長補佐

1 {8月定例会議録の承認}

【浦上教育長】 皆さん、おはようございます。9月定例教育委員会を開催したいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の会議録署名委員に、岩井委員を指名しますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数を満たしているため、成立していることをご報告いたします。

それでは、次第の1、8月定例教育委員会会議の議事録の承認につきまして、審議をいたします。

委員の皆様、何か質疑等ございますか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、8月定例会議録につきましては承認と決しました。

2 {教育長及び教育委員の報告}

【浦上教育長】 それでは、次第の2、教育長及び教育委員の報告に移ります。

まず、教育長報告ですが、お手元の配付の資料のとおりです。

8月 22日 (火) 〃 〃	定例教育委員会 令和7年度 大阪府都市教育委員会連絡協議会第2回役員会（オンライン） 夏の夕べ2025（主催：八尾市障がい児者問題協議会・安中小学校） 龍華図書館 10周年記念イベント（龍華図書館）
8月 23日 (土)	八尾が世界に誇るわがまちオペラ かわち歌しばい（来賓・八尾市文化会館）
8月 24日 (日)	
8月 25日 (月)	令和7年度 第1回行財政改革推進本部会議
8月 26日 (火) 〃	2025 消費者生活展（くらし学習館） 不登校支援協力者会議（青少年センター）
8月 31日 (日)	八尾市理科作品展見学（八尾市文化会館）
9月 1日 (月)	株式会社アーテックとの包括連携協定の覚書の調印式及び防災×プログラミング「まな防災」を活用した授業参観（高安小中学校） 部長会
9月 2日 (火)	9月市議会定例会本会議(第1日)
9月 8日 (月)	9月市議会定例会本会議(第2日)
9月 9日 (火)	
9月 11日 (木)	第46回 人権・同和問題企業啓発講座 第2回実行委員会（大阪市港区）
9月 12日 (金)	うらさんの部屋①
9月 13日 (土)	高安西小学校区 納涼会（高安西小学校グラウンド）
9月 16日 (火)	定例教育委員協議会
9月 17日 (水)	大阪・関西万博視察（全日）
9月 18日 (木)	文教常任委員会
9月 21日 (日)	第59回 大阪府下招待柔道団体優勝大会（八尾市立総合体育館）

【浦上教育長】 私からの報告が1点あります。9月17日（水）、大阪・関西万博へ視察に行ってまいりました。朝の9時に入場し、夕方5時頃に退場しました。特に、ヘルスケアパビリオンを重点的に見てきました。会場では、八尾市の11企業が様々な取り組みをされていました。当日は、非常に楽しく過ごさせていただきました。また、当日は八尾市立上之島小学校の3年生の子どもたちが、自分達で発明した内容を発表してくれていました。発表では、読み原稿などを見ることなく、自分達の言葉で堂々と笑顔で発表していました。発表後、子どもたちは賞を受け取っており、その時の笑顔は最高でした。

昼からは人も多く、とても大変でした。報道でも取り上げられているように、閉会まで大勢の人が来場されるでしょうが、八尾市の学校からも、いくつかの学校が閉会までに来場する予定をしていますので、気を付けて行ってほしいと思います。また、大屋根リングにも上りましたが、とても見晴らしが良かったです。閉会後、万博の跡地がどのように活用されるのか、ワクワクした気持ちで見守りたいと思います。以上で、私の報告は終わりたいと思います。

それでは、委員の皆様方から、この間の活動状況等について、何かあればご報告お願ひします。

【岩井委員】 8月30日（土）、八尾市文化会館会議室において、小・中・義務教育学校の「夏休み理科作品展」がありましたので、見に行かせていただきました。展示作品は、いずれも子どもたちが生活の中で抱いている科学的な疑問や不思議を解決しようと、見通しを持って観察や実験をして、考察をするといった論理的な思考力育成のステップをしっかりと踏まえた力作ばかりでした。作品の中には、1年間通して、継続的に観察や計測している作品もあり、その粘り強さに感動しました。また、会場にはたくさんの親子が来ておられて、展示作品を見ながら、親子で色々お話しておられる様子を拝見して、家族の方の深いご理解とご支援があればこそ、出来た作品展だなと思い、非常にありがとうございました。

小学校低学年では、家庭において、「家族と一緒に24時間防災体験をする」という作品もありました。日常生活に根差した、非常に面白い「理科作品展」ですので、たくさんの方々、あまり理科が好きではないという子どもたちにも、もっと見て欲しいなと思いました。

次に、9月1日（月）、以前、新聞記事にも掲載されていましたが、午前7時50分から8時20分まで大正北小学校で開催されている「朝の子ども食堂」の様子を見に行かせていただきました。この日は、2学期が始まってから、初めての「子ども食堂」の開催だったのですが、低学年の子どもたち約40人が、プレイルームに来ています、大変お行儀よく朝食をいただいていました。私は、朝食であるため、メニューは軽食だと想像していたのですが、予想とは全く違って、「おにぎり1つ、味噌汁、そして唐揚げ・スペゲティ・サラダなどが入った大皿、別に、手づくりデザート」まで付いていて、そのボリューム満点のメニューに少し驚きました。しかしながら、子どもたちは低学年であるにも関わらず、残すことなく時間内にペロリと食べて、「いってらっしゃい」と声をかけてもらって、各自の教室へと移動して行きました。「子ども食堂」の調理は、毎回、朝の6時半頃から始められているとお聞きし、「子ども食堂」を運営してくださっている地域住民の方々の子どもたちへの熱い思いとご支援に、心から感謝するとともに、本当に頭が下がる思いで帰っていました。運営における課題もあるようですが、この「子ども食堂」が、長く続いていくこと、そして広がっていくことを心から願っております。

次に、同じく9月1日（月）、10時から高安小中学校へ行きました。プログラミング教育において、八尾市と包括連携協定を結んでいる株式会社アーテックと八尾市教育委員会で協同開発した防災アプリ「まな防災」を活用した4年生の授業を見せていただきました。9月1日が「防災の日」ということを子どもたちはよく知っていましたし、数日後には学校で地震の避難訓練が予定されているというタイミングでしたので、このアプリを使って、実際に地震が起きたときに取るべき行動を順に並べるという課題に、非常に意欲的に取り組むことが出来ていたと思います。また、アプリでは、取るべき行動を順に並べていき、間違っていた場合は、そのヒントが出てきて、何度も選び直しながら、正しい答えを並べるようになっているので、その過程で、プログラミング的思考が鍛えられると思いました。さらに、地震が「教室で起きたとき」だけではなく、「廊下で起きたとき」、「家で起きたとき」など、場面を複数用意して非常にいいなと思いましたし、子どもたちだけでなく先生方も、このアプリを通して、防災について色々と勉強できるなという感想を持ちました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【藤井委員】 9月12日（金）、京都リサーチパークで開催された「市町村教育委員会研究協議会」へ参加しました。当日は、全国から教育長や教育委員の皆様が、概ね200人くらい参加されていたかと思います。まず、文部科学省の方から「教師を取り巻く環境について」ということで、行政説明がありました。こちらでは、特に教育委員会、校長、保護者など、あらゆる主体向けに「教師の健康福祉の確保に向けて」というチラシを文部科学省のホームページへ掲載しているので、ぜひともご活用いただき、理解・啓発へ勤めていただきたいというアナウンスがありました。

その後、分科会に参加しました。2つのテーマについて議論したのですが、1つ目は「不登校対策について」、2つ目は「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について」でした。不登校についてでは、私は長岡市、四日市市、大津市の教育委員の方々と同じグループで、それぞれ発表しました。八尾市では、不登校について、様々な方面から支援を行っており、案内などのチラシも毎回非常に分かりやすく作成しているので、他の教育委員の皆様に关心を持っていただき、多くの質問をいただきました。私自身は、四日市市の取り組みに关心を持ちました。こちらの市では、不登校の親の会を設置し、年に4回開催されているそうですが、実施方法について、非常に工夫されているとのことでした。仮に参加者が10名以上であったとしても、その中で2、3名ずつの小集団を作り、1時間ぐらいは皆で話をして、その中に必ずカウンセラーなどの専門職の方も同席して、保護者の状況を見守っています。皆での話し合いの後は、カウンセラーの方などが登壇されて、不登校に関するミニ講演会のようなものを行い、解散となります。この順番が重要だということでした。皆の話合いの中で、自分の子どもが学校へ行けていないなど、保護者間で情報交換をするうちに、自分の子どもと他の子どもを比較してしまい、落ち込む保護者がいたとしても、最後にカウンセラーなどの専門職の方から、保護者がポジティブになる話を聞いていただくことで、前向きな気持ちでお帰りいただけるため、この順番にしているとのことでした。

また、これも同じく四日市市の話となりますが、「NPO法人カタリバ」という有名な若者向けに支援をされている団体と提携をされているそうです。そこでは、オンラインのメタバース空間でやり取りをしたり、勉強を教えてもらったりなど、外部と提携されていることに特徴があると感じました。その他、大津市では、新たな取り組みではありませんが、特にいじめ対策に力を入れているようであり、いじめは絶対に起こさないという並々ならぬ決意を持って取り組んでいるとおっしゃられていました。

次に、2つ目のテーマである「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について」は、宝塚市、大津市、東京都北区の教育委員の皆様とのグループで色々お話をさせていただきました。私のグループでは、「他の市区町村がどのように取り組んでいるか情報収集してください。」と事務局からお願いされているような雰囲気でした。東京北区の方では、今年から少し着手しようという雰囲気であり、手探りであると話をされていました。大津市は、個人種目の方から、外部の指導者へ移行を進めているとおっしゃられていきました。しかし、外部指導者の指導が厳しく、退部する事例が発生するなど、課題は様々あるようであり、普及には時間が掛かるだろうとおっしゃられていました。また、当

日は、文部科学省のスポーツ庁の方がいらっしゃり、分科会冒頭における行政説明の中で、「地域移行」ではなく「地域展開」という言葉を使ってほしいとおっしゃられていました。スポーツ庁の方への質疑応答では、各区市町村の教育長や教育委員の皆様が、各自治体の難しい現状を訴えておられているという印象でした。この研修会の内容について、皆様にも共有したい情報がたくさんありますので、改めて詳細をお伝えさせていただきたいと思っております。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。ないようであれば、次に進ませていただきます。

3 {議案審議}

【浦上教育長】 それでは、次第の3、議案審議に入らせていただきます。なお、本日予定されております議案第26号「令和7年 文化の日表彰式典 教育委員会表彰の件」につきましては、八尾市情報公開条例第6条第5号、市の機関の事務事業に関する情報であって、事務事業の公正若しくは円滑な執行に支障が生ずると認められるものに該当するため、公開可能な時期が来るまでは非公開にしたいと思います。委員のみなさまいかがでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、本議案につきましては、非公開とすることといたします。以上を持ちまして公開部分は終了となりますので、傍聴のみなさまは、ご退場いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

議事の都合により暫時休憩します。それでは、議事の都合により暫時休憩とします。再開は2分後とします。

[傍聴者退席]

{非公開審議}

【浦上教育長】 それでは、議案第26号「令和7年文化の日表彰式典教育委員会表彰の件」につきまして、審議をいたします。提案理由の説明を牧野教育政策課長よりさせていただきますので、太田副教育長、塚本教育監、牧野教育政策課長、山本学校教育推進課長、内藤学務給食課長、松村教育政策課長補佐、宮崎学校教育推進課長補佐は前の席へお越しください。

それでは、牧野教育政策課長より説明願います。

【牧野教育政策課長】 ただいま議題となりました議案第26号令和7年「文化の日表彰式典」教育委員会表彰の件についてご説明申し上げます。

本件は、令和7年「文化の日表彰式典」における教育委員会表彰の被表彰者を決定するにつき、「教育長に対する事務委任等に関する規則」第2条第11号の規定により、委員会

の議決を求めるものでございます。

提案の理由でございますが、八尾市教育委員会表彰規則第6条の規定に基づき、教育委員会表彰審査会にて審査いたしました。被表彰者の選考結果について報告がありましたので、これを決定するにつき、ご提案申し上げるものです。

恐れ入りますが、お手元の「令和7年「文化の日表彰式典」における被表彰者の選考結果について（報告）」をご覧ください。

まず、はじめに、学校医、学校薬剤師の部についてですが、八尾市立学校で15年以上学校医、学校薬剤師として、学校の環境衛生の維持・管理に関して指導助言を行い、学校保健の向上に多大の貢献をした方を被表彰者としております。令和7年につきましては、学校医6名、学校薬剤師1名を表彰対象としております。

次に、児童・生徒の部ですが、主に大阪府規模の大会等で、優勝もしくはそれに準ずる成績を挙げた児童・生徒を表彰の対象としております。令和7年につきましては、スポーツ部門で9名、4団体、文化部門で2名、3団体を基準に該当するものとし、表彰対象としております。なお、慰問活動部門の該当者はございません。

次に、教育一般の部ですが、学校協力の分野におきまして、長年にわたり教育現場等にご協力いただいている方を表彰の対象としております。令和7年につきましては、個人3名、団体2団体を表彰対象としております。

なお、令和7年文化の日表彰式典は、令和7年11月3日に八尾市文化会館小ホールにて開催予定であります。以上、はなはだ簡単な説明ではございますが、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

【浦上教育長】 ありがとうございます。ただいま議案の説明がございましたが、委員の皆様方、何か質疑等ございませんでしょうか。

【近田委員】 今回の提案では、大阪府規模の大会等において、優秀であったということで推薦いただいているということですが、大会の詳細な内容や主催団体名などについて、もう少し詳細に記載いただく方が、議決にあたっての参考となるので、次年度以降ご検討いただければと思います。

【浦上教育長】 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

【水野委員】 応募方法について、再度確認させていただければと思います。こちらは、どのようにして推薦されてきたのでしょうか。

【牧野教育政策課長】 被表彰者の推薦は、校長から推薦をいただいております。推薦漏れが無いよう、推薦依頼の前に、校長会の場で、事績の把握に努めるよう依頼しております。

【水野委員】 ありがとうございます。近年、学校を経由せず、個人でエントリーする大会が増えていますので、引き続き事績の把握に努めていただければと思います。

【浦上教育長】 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

【岩井委員】 感想と質問です。推薦していただいた学校や、その推薦を審査いただいた表彰審査会委員の皆様には、色々とお世話を掛けて、ありがとうございました。今年も、このようにすばらしい功績のある方々を多く推薦いただき、本当に良かったなと思っております。児童・生徒の部では、大阪府、近畿、そして全国、さらには世界をめざして、様々なスポーツや文化面で頑張っている子どもたちが、八尾にはたくさんいることが分かり、本当にすごいなと思いました。また、スポーツ部門では、私自身がこれまであまり知らなかったスポーツが、新しくどんどん身近に広がってきていたと感じました。そこで少し質問があるのですが、表彰者の中でも、海外や世界にも挑戦している子どもがいるとのことですが、記載されている内容以外にも、事務局で何か情報を持っていれば、教えていただけるでしょうか。

【宮崎学校教育推進課長補佐】 8番の方ですが、所属する団体が世界大会へ出場するにあたって、国内で選抜大会を受けられて、その成績により世界大会へ出場されていますので、たくさんの大会に出場し、成績を残されている状況です。また、7番の方に関しましては、今回の成績の後に、日本代表選手として選抜を受けまして、アラブ首長国連邦やマレーシアでの大会に、日本代表として出場されたと聞いておりますので、みなさまそれぞれの分野で幅広く活躍されておられると認識しております。

【岩井委員】 ありがとうございます。今の報告を聞いて、八尾市民としても誇らしく思います。今後も、ぜひ頑張ってほしいと思います。また、文化部門において、万博関連で表彰されている方もいますが、こちらも、ある意味では世界大会と同等のものであると考えられます。そこで、1点確認したいことがあるのですが、児童・生徒の部における文化部門の「第13回小学校対抗「まめっ子くん」豆つかみゲーム大会」とは、どんな内容を競うものでしょうか。私も、小学校での勤務経験があるため、おおよそ想像はできます。私の経験では、お箸を使って、豆を移動させるようなレクレーションのようなものであったのですが、この大会においては、どのような内容であったのか、もう少し詳しい情報を教えていただければと思います。

【宮崎学校教育推進課長補佐】 こちらは、フジッコ株式会社が主催している大会で、内容としては、箸とお椀を正しく使用し、制限時間内に、箸を使って、豆をお椀へどれだけ移動させることができるかを競う競技です。

【岩井委員】 ありがとうございます。食育指導は、生きる上での基本であって、生きる力、「知育」「德育」「体育」の三育の基礎を築くものです。個人戦でも、団体戦でも亀井小学校は1位ですので、学校の中で、食育指導を長年続けていらっしゃるのだと思います。そして、お箸を正しく使える「お箸名人」の子どもたちがたくさんいて、給食を食べるときも、マナー良く、楽しく食べて、健康で元気な子どもたちが、亀井小学校にいっぱいいるのだろうなと思いました。発表の場面が万博であるだけに、相当なプレッシャーが

あったかと思いますが、一生心に残る体験が出来て、本当に良かったと思っております。

【浦上教育長】 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

【藤井委員】 私からは、感想を申し上げます。八尾市では、様々な競技で優秀な成績を上げている子どもたちがたくさんいて、本当に嬉しく思います。その中でも、児童・生徒の部の文化部門、長池小学校におけるマインクラフトで功績を認められている内容が、私は印象的でした。こちらは、学校に行きづらい子どもでも、取り組みやすい内容であると聞いたことがあります。こういった競技で表彰されるということは、他の子どもにとっても、励みになるのではないかと思います。文化の日表彰式典には、教育委員として、私も毎年参加させていただいておりますが、会場の出入り口で表彰される子どもたちと保護者が、喜んで写真を撮影している様子を見ると、この場で表彰されることとなったのは、表彰される子どもたちの努力だけではなく、その関係者の方々の支えのおかげなのだろうと想像できます。そう考えると、表彰される子どもたちだけではなく、子どもたちを支えてきた皆様へ拍手を送りたい気持ちになります。文化の日表彰式典で表彰されるということは、すでに違う形で表彰を受けていることかと思いますが、改めて表彰されることに楽しみを感じます。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

【近田委員】 どれも素晴らしい功績であると思いますが、先程もお話したとおり表彰の基準が、もう少し明確である必要があると改めて感じました。教育委員会表彰は、学校からの推薦であると聞いておりますが、学校からの推薦漏れが無いかななど、少し気になる点はあります。

【浦上教育長】 ただいまの近田委員のご意見に関して、事務局から感想をいただけるでしょうか。

【太田副教育長】 私どもの方で表彰審査委員会を担当させていただいております。様々ご意見いただき、ありがとうございました。今後も、可能な限り、頑張っている多くの子どもたちを表彰できるように努めていきたいと考えております。しかし、一方では、ご指摘いただいたように、大会規模や内容については、表彰審査委員会としても、しっかり精査して参りたいと考えております。また、被表彰者ができるだけ多く推薦いただけるよう、学校に対しても広報していく仕組み作りを検討していく必要があると考えております。文化部門の推薦が少ないことについては、以前から教育委員の皆様にも、ご指摘いただいたおり、それを踏まえて、文化部門の事績把握に努めていただくよう校長会にも働きかけています。しかしながら、先程、水野委員からもご指摘いただいたとおり、学校を経由せず、個人で参加する大会等が増えているということから、今後の広報のあり方や事績の把握の仕方を考える時期に来ていると感じております。今後、さらに多くの子どもたちを表彰できるように努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

【浦上教育長】 ありがとうございます。学校では、4月に人事異動があることから、表彰基準日以降の9月から3月末までの子どもたちの事績が、次年度に引継ぎにくい状況があります。その場合、推薦漏れが起こりうるため、基準日から3月末までの事績把握に努めるよう、事務局から学校に対してしっかりとアナウンスをしてください。本議案は、表彰審査会からの報告を受けて、教育委員会として表彰する者を決定する場であるため、できるだけ内容が分かるようにしてください。例えば、推薦状況について、対前年度で比較するような形にしてくれれば分かりやすいかと思います。ちなみに、令和6年度と令和7年度の推薦状況を事務局から口頭で報告してもらえるでしょうか。

【松村教育政策課長補佐】 それでは、部門毎に報告いたします。まず、学校医等の部について、令和6年度は4件、令和7年度は7件の推薦となっております。次に、児童生徒の部におけるスポーツ部門について、個人団体を含めて令和6年度は13件、令和7年度も同じく13件の推薦となっております。なお、文化部門は、個人団体を含めて令和6年度は3件、令和7年度は5件の推薦となっております。最後に、教育一般の部について、令和6年度は6件、令和7年度は5件の推薦となっております。

【浦上教育長】 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

【近田委員】 世界大会や全国大会に出場した場合、大会規模の提示がなければ、競技団体によっては、乱立している可能性があります。参加人数によって表彰を妨げるということではありませんが、表彰を決定する側としては、できるだけ詳細な資料が提示されている方が判断に迷わないかと思いますので、よろしくお願ひいたします。

【浦上教育長】 ありがとうございます。今、ご要望をいただいたことについて、今後、事務局で検討をお願いします。他の委員の皆様方はいかがでしょうか。それでは、ないようですので、採決に入らせていただきます。

議案第26号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって、議案第26号「令和7年文化の日表彰式典教育委員会表彰の件」につきましては、よって、原案どおり可決いたしました。

それでは、太田副教育長、塚本教育監、牧野教育政策課長、山本学校教育推進課長、内藤学務給食課長、松村教育政策課長補佐、宮崎学校教育推進課長補佐は自席へお戻りください。

4 {その他}

【浦上教育長】 続きまして、次第の4、その他についてですが、事務局から何かありますか。

【事務局】 ありません。

【浦上教育長】 ないようですので、以上をもちまして、9月の定例教育委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。